

特定サービス産業実態調査（映画館）

茨城の映画観客2百万人，ヒット作品に恵まれ売上増加

茨城県内において平成16年（11月1日現在）に映画館を経営する事業所数は18ヶ所，48館あり，館数では全国16位と前回調査時11位から順位を下げている。

映画館のある市町村は12市町村で，水戸市，日立市，土浦市の3市で事業所数の44%を占めている。事業所数は減少しているが，1事業所のスクリーン数は，増加傾向にある。

これは郊外型ショッピングセンター内に複数のスクリーンを持つシネマコンプレックス方式の小規模座席の映画館が多く立地。映画配給会社系列の進出が全国的に展開されている。

前回調査時より入場者数，売上高が7%増加している。これはロードオブザリング，ハリーマン，世界の中心で愛を叫ぶ及びハウルの動く城等のヒット作品などに恵まれたこと。これに加えショッピングセンターや複合ビルへの立地により新たな観客確保が図られたことによるものと思われる。

全国の順位では，入場者，売上高ともに18位に位置するが，1施設当たりの入場者・売上高ではともに全国平均値より約30%低くなっている。全国1位の東京は1館10万人の入場者である。

売上高構成比をみると入場料収入が約80%を占めており，この傾向は平成6年以降あまり変動していない。1館当たりの営業収益は約1千万円となっている。

平成17年以降，10スクリーンを有するシネマコンプレックスがひたちなか市や水戸市郊外と駅前が開館した。今後，つくば市への立地が予定されていることから映画観客が増大するとともに既存市街地の映画館の閉館が現実化しており，競争が激しくなるものと考えられる。

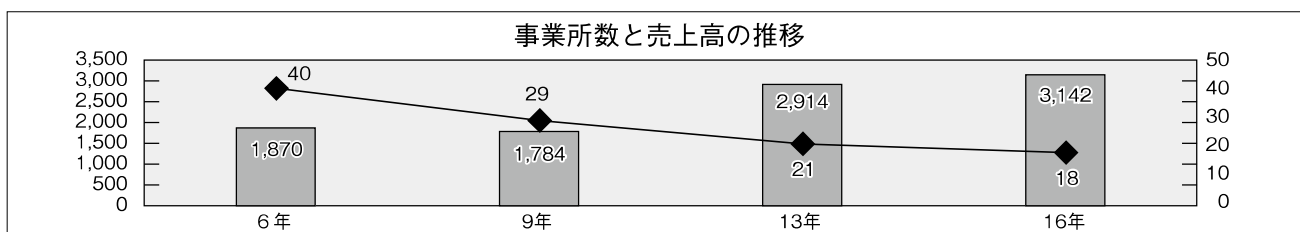


表-1 茨城県の映画館主要指標の推移

	茨 城 県					全 国 平成16年
	6年	9年	13年	16年	直前回比	
事業所数	40	29	21	18	85.7	716
スクリーン (映画館)	—	42	53	48	90.6	2,464
座席数 (席)	7,936	6,996	8,536	7,868	92.2	469,694
従業者数 (人)	172	208	249	215	86.3	16,166
入場者 (人)	1,197,170	1,227,386	1,873,629	2,014,552	107.5	143,357,414
売上高 (百万円)	1,870	1,784	2,914	3,142	107.8	228,643
うち入場料収入	1,595	1,486	2,402	2,532	105.4	183,860
営業費用 (百万円)	1,589	1,640	2,686	2,621	97.6	201,942
うち上映映画料	729	675	1,160	1,391	119.9	98,339
年間上映本数	928	895	913	922	101.0	57,981
洋画	294	254	399	317	79.4	28,660
邦画	634	641	514	440	85.6	23,836
1施設座席数 (席)	198	167	161	164	101.9	191
1施設入場者 (人)	29,929	29,223	35,351	41,970	118.7	58,181
1施設売上高 (万円)	4,674	4,248	5,498	6,546	119.1	9,279
1施設上映本数	23	21	17	19	111.8	24

*特定サービス産業実態調査（経済産業省）

*事業所数，映画館数は集計件数である。

*1施設当たりの項目について平成3年，6年は1事業所当たりとし，9年，13年，16年は1スクリーン当たりとしております。